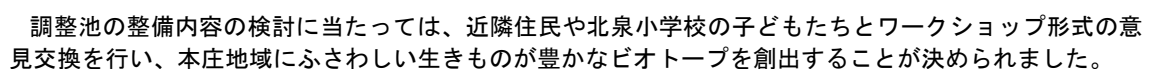




V. 男堀川調整池一本庄早稻田駅周辺地区一

●2010年5月28日
小学生のアイデアを活かした
中之島





●2011年6月16日
造成2年目の男堀川調整池



●2011年6月16日
中の島の状況



●2011年6月16日
止まり木を利用するカワウ

住民参加による魅力ある地域づくり活動

「孫子の代まで引き継いでいけるまちづくり」をテーマに、地元住民による「まちづくり活動勉強会」やワークショップなど、より魅力ある地域とするためのさまざまな活動や取り組みを行っています。

まちづくり活動勉強会の風景



地元小学生が考えた“大久保っ池”

水鳥や植物の観察などが楽しめるビオトープとして整備される男堀川調整池の設計には、北泉小学校のみなさんの意見を取り入れ、中の島は魚の形に、愛称は大久保っ池（おおくぼっち）に決まりました。



男堀川調整池 (CG イメージ)



●2013年1月11日
造成3年目の男堀川調整池



●2014年2月7日
造成4年目の男堀川調整池



●2014年12月5日
造成5年目の男堀川調整池



●2018年6月8日
造成9年目の男堀川調整池



●2020年11月13日
造成11年目の男堀川調整池

ビオトープとして整備した調節池は、年々水辺環境が豊かになり、カイツブリ・カルガモ・バン・オオヨシキリ等が繁殖し、冬になるとコガモ・マガモ等の7種400羽程のカモ類や、カワウ・シラサギ類等が訪れます。



●2013年1月11日
水辺に群れるカモ類



●2014年12月5日
水辺に群れるシラサギ類



●2018年6月8日
水辺に営巣するカルガモ



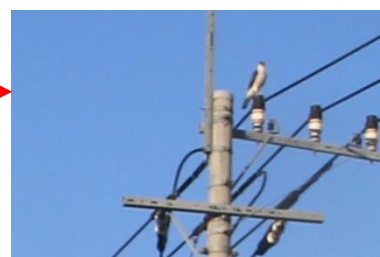
●2018年6月8日
こどもたちの環境学習にも活用される



●2020年11月13日
ワークショップで提案された池のイメージ



●2020年11月13日
カモが群れる男堀川調節池にはオオタカが飛来する



●2020年11月13日
電柱からカモを狙うオオタカ成鳥

男堀川調節池では、計画段階からオオタカの採食地となることを目標として整備しましたが、造成後11年目にして、オオタカによる餌場利用が確認されました。



●2018年6月8日
多自然川づくりによる男堀川



●2020年11月13日
調節池に隣接する男堀川

区画整理に伴い、調整池に接する男堀川も、全面改修されました。水生動物の川の中での移動を妨げないための落差処理が行われると共に、川岸にはヨシやマコモ等の水生植物が茂る護岸が実施されました。



●2011年6月16日
改修後の男堀川の落差



●2014年2月7日
落差処理に置かれた玉石



●2020年11月13日
10年後も落差処理は機能